

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、9～17℃台を示し、やや低め～平年並みの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――月夜間とシケで出漁日数が少なかった。西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり0.4トンの水揚げで、前週の13%（前年を下回った）。五島奈留地区では、マサバなどが1日1統当たり0.9トンの水揚げで、前週の23%（前年を下回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり15トンの水揚げで、前週並み（前年並み）。
- イカ釣――月夜間とシケで出漁日数が少なかった。スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり5kgの水揚げで、前週の4%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり207kgの水揚げで、前週の9%。（前年を下回った）。ケンサキイカは、五島奈留地区では、1日1統当たり5kgの水揚げ（前年を上回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり612kgの水揚げ。対馬西岸地区では、スルメイカなどが1日1統当たり68kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり46kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ブリが1日当たり340kgの水揚げで、前週の2.4倍（前年を上回った）。野母地区では、マアジが1日1統当たり13kgの水揚げで、前週並み（前年並み）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（2/15～2/18の4日間）沖合イカ釣（船凍船）は、荒天の為、各地入港。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、山口沖～能登半島沖～佐渡沖で僅か操業船あり。鳥取県西部（沖合船）月夜及び荒天の為、入港船なし。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>